

日共・民青の自治会のとりを許すな!

暴力による大衆討論の压殺を
粉碎し真相を徹底的に究明しよう
開う五学部自治会執行委員会の
下に全学友は結集しよう

〔二〕 全法政の学友諸君！

11日、われわれは事態の正常化のために、大きな決断を行つた。もちろん、われわれは、この間一貫して主張してきたように、今回の事態の一切の原因は日共・民青の諸君が大量に他大学の党员・同盟員を勧員して、オ一文学部自治会室・オ一社会学部自治会室を暴力的に占拠し、それに抗議したわれわれに対して棍棒・石・鉄片で繰り返し襲つてきたことにある。従つて、われわれは彼らの自己批判と自治会室の無条件受け渡し要求する権利を有していだ。しかしながら、われわれは、公開的大衆討論の場をつくり出し、その中で本質を解明するために、事態の正常化のための一つの大きな決断をしたのであつた。

〔三〕 だが、しかし、日共・民青の諸君は正常化の約束にもかゝわらず、その後に彼らは五学部の自治会室に乱入りし、荒しまわり、マイク・アンスや私物などを百数十点の物品を強奪し、さらに昨夜から今日にかけて、学外勢力を大量にオ一般学生の名を不當に悪用しながら、われわれに対する吊し上げ、テロ・ハーリンチをほしいままにしている。彼らは、われわれのビラを活動さえ暴力的に抑えつけできている。それはかりではない。彼らは、自治会執行部や活動家に対してばかりでなく、文字通り一般の学友諸君に対してさえ、一寸、民青の暴力支配、ペテン行為に抗議の声を発するや直ちに「中核ダマレ」などといつてございたり、けたりしてくるありさまである。こうしたやり方は、まさにファシスト的権力者のやり方以外のなにものでもないではないか。日共・民青の暴虐を圧倒的な大衆の力で粉碎しよう。

〔四〕 日共・民青の眞のねらいは、自治会ののとりである。

学友諸君、この間の事態について、日共・民青は、われわれが二部の学友に暴力をふるってきたからだといつてきた。だがしかし、今日になつては、さりとてことは、彼らの眞のねらいは、全然ちがうといふことである。今日の彼らのビラは、五学部自治会執行部は崩壊した。新しい執行部をつくろうしなどとわめきて、いるのである。

彼らは、口実をもうけて、暴力事件を起こして力で自治会室をのとろうとしていたのだ。こういう陰謀家達に自治会室のとられたらどうなるであろうか。全法政のゆう学生の力で、こうしたやり方を徹底的に追放するまで頑張ろう。

〔五〕 文・経はじめ五学部自治会は、斷固として閉う。いふる謀略にも暴力にもわれわれは屈しない。全学的な大衆討論を直ちに、爆發的に展開し、真相を徹底的に究明しよう。

一九六八年九月一二日